

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 江西省森林・林業相互交流事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 林政課 政策企画係 電話番号：058-272-1111(内4315)

E-mail：c11511@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,803 千円 (前年度予算額： 9,694 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,694	0	0	0	0	0	0	0	9,694
要求額	5,803	0	0	0	0	0	0	0	5,803
決定額	5,803	0	0	0	0	0	0	0	5,803

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県と中国江西省は昭和63年に友好提携を結んで以来、各分野で提携交流を行ってきた。森林・林業分野でも、これまで研修生の受入れ、植樹事業、木育活動等の取組みを行ってきた。

また、平成30年11月には岐阜県林政部と江西省林業局との間で、友好提携30周年を機に、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に関する覚書」を締結し、両省県の森林・林業分野における更なる交流の促進について合意したところである。

(2) 事業内容

覚書に基づき、技術交流、研究機関の提携交流等を行うため、両省県の研究員の相互派遣及び森林教育等の学術交流を行う。

●両省県の研究員の相互派遣

8年度は、中国江西省へ県森林研究所の研究員を派遣する。

●両省県の学生交流会の開催

中国江西省の学生を招き、森林文化アカデミー学生との交流会を実施する。

●「ぎふ木育教室」の指導者の研修をオンラインで開催

中国江西省南昌市の幼稚園の指導者に対し、オンラインで「ぎふ木育教室」指導者研修を開催し、ぎふの木と共生する文化を伝え、両省県の友好を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・本事業は岐阜県と中国江西省林業局との交流事業のため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	68	相互派遣及び交流会のための報償費
旅費	617	相互派遣及び交流会のための旅費
需用費	206	消耗品費
役務費	152	通信運搬費
委託料	4,760	研修生受入に係る諸業務
合計	5,803	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・県として各分野で提携交流を行っている中国江西省と、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に関する覚書」を基に、森林・林業分野での技術交流、教育・研究機関の提携交流等について連携して取り組み、両省県の森林・林業分野の更なる発展を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

中国江西省との連携事業のため、県独自で指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	・岐阜県と中国江西省の林政部門の交流における中核人物となることを期待し、中国江西省から研修生の受入れを行うとともに、岐阜県から研修生を派遣し、江西省の主要な造林樹種であるコウヨウザンの加工技術、造林技術を学んだ。また、江西環境工程職業学院の学生を招き、本県の森林・林業、森林文化への理解を深めてもらうとともに、両省県の関係性構築を図った。
令和6年度	・中国江西省林業局の訪問団と意見交換を行い、令和7年度以降の交流事業についての方針を決めた。 ・方針により、令和6年度は令和7年度実施に向けた調整を中国江西省担当と行った。（令和6年度：研修生派遣なし） ・青少年交流を行うため、森林文化アカデミー教員が中国江西省を訪問し、現地視察を行った。
令和7年度	・岐阜県と中国江西省の林政部門の交流における中核人物となることを期待し、中国江西省から研修生の受入れを行った。 ・江西省からの青少年交流は、先方の都合により未実施。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県林政部と中国江西省林業局は、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に関する覚書」を締結しており、覚書に基づき、各種交流を進めていく必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	江西省の研修生を受入、意見交換を行うことで、お互いの知見を深めることができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	江西省林業局との意見交換会により研修生の相互派遣を隔年とし、準備期間を設けることによりより効率的な事業の実施が可能となった。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
・岐阜県林政部と中国江西省林業局は、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に関する覚書」を締結していることから、覚書に基づき、各種交流を進めていく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】